

## <各種財政指標の年度推移について>

(各種財政指標の目標値)

	H19	25年度目標値	人口40万人以上 中核市18市平均	H20	H21	H22	達成状況
実質赤字比率	黒字	黒字を維持	18市とも黒字	黒字	黒字	黒字	↗
連結実質赤字比率	黒字	黒字を維持	18市とも黒字	黒字	黒字	黒字	↗
実質公債費比率	13.9%	11%台	10.2%	13.6%	13.0%	12.2%	↗
将来負担比率	117.3%	110%程度	101.5%	135.8%	140.5%	135.7%	→
経常収支比率	92.0%	現状を維持	91.9%	92.0%	92.2%	91.1%	↗
財政調整基金残高	113億円	135億円	82億円	111億円	112億円	112億円	→
"    (一人あたり)	16,858円	20,000円程度	15,957円	16,483円	15,441円	15,520円	→
市債残高	2,400億円	2,000億円	1,710億円	2,323億円	2,411億円	2,366億円	↘
"    (一人あたり)	357,803円	300,000円程度	337,630円	345,491円	333,103円	326,479円	↘

各種財政指標の目標値については、4項目では達成見込であるが、その他の項目では、計画時において未確定であった城南町、植木町との合併や政令指定都市への移行に伴う影響により達成が厳しくなっている。

また、政令指定都市への移行を踏まえ、現在行っている平成24年度の当初予算編成の結果を受けて収支の見直しを行う中で、目標値について見直しを行う。

## <各種指標の状況と他都市比較について>

### ○ 実質赤字比率、連結実質赤字比率

本市では、いずれも黒字を維持している。

(単位:百万円)

	H19	H20	H21	H22
一般会計等の黒字額	2,851	2,383	6,613	3,717
連結対象会計を含む黒字額	2,798	6,230	13,494	13,480

#### 他都市比較

本市を含む40万人以上の中核市20市では、実質赤字比率、連結実質赤字比率はなく、すべての団体に黒字となっている。(中核市20市には本市を含む。以下同じ。)

政令指定都市19市では、実質赤字比率はすべての団体に黒字だが、連結実質赤字比率は千葉市と京都市が赤字となっている。

### ○ 実質公債費比率 (本市の比率:12.2%)

目標値に対して順調に低下している。

#### 他都市比較

40万人以上中核市20市平均	9.5%	中核市の中では高い方である。
政令指定都市19市平均	12.3%	指定都市と比較すると平均に近い。

○ 将来負担比率 (本市の比率:135.7%)

平成20年度に比率が増加したものの、その後は横ばい状態であり、目標値の達成は厳しい。

他都市比較

40万人以上中核市20市平均	84.7%	中核市の中では高い方である。
政令指定都市19市平均	154.4%	指定都市と比較すると平均よりも低い。

○ 経常収支比率 (本市の比率:91.1%)

ほぼ横ばいで推移、平成22年度は若干改善しており、目標である現状維持を続けている

他都市比較

40万人以上中核市20市平均	90.1%	中核市の中では平均に近い。
政令指定都市19市平均	94.3%	指定都市と比較すると平均よりも低い。

○ 財政調整基金残高 (本市の市民一人あたり残高 : 15,520円)

目標に向けた増額はできていないが、残高を維持し続けている

他都市比較(市民一人あたり)

40万人以上中核市20市平均	18,306円	中核市の中では平均よりも少ない。
政令指定都市19市平均	6,541円	指定都市と比較すると平均よりも多い。

○ 市債残高 (本市の市民一人あたり残高 : 326,479円)

計画的な市債発行額の抑制等により低減傾向にある。

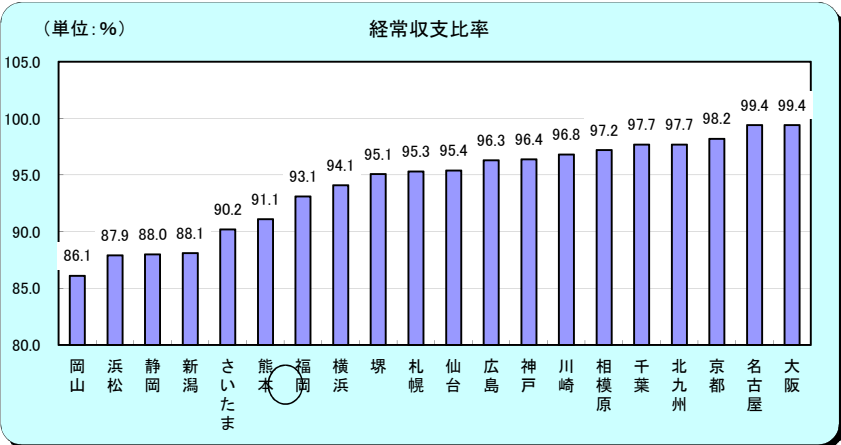
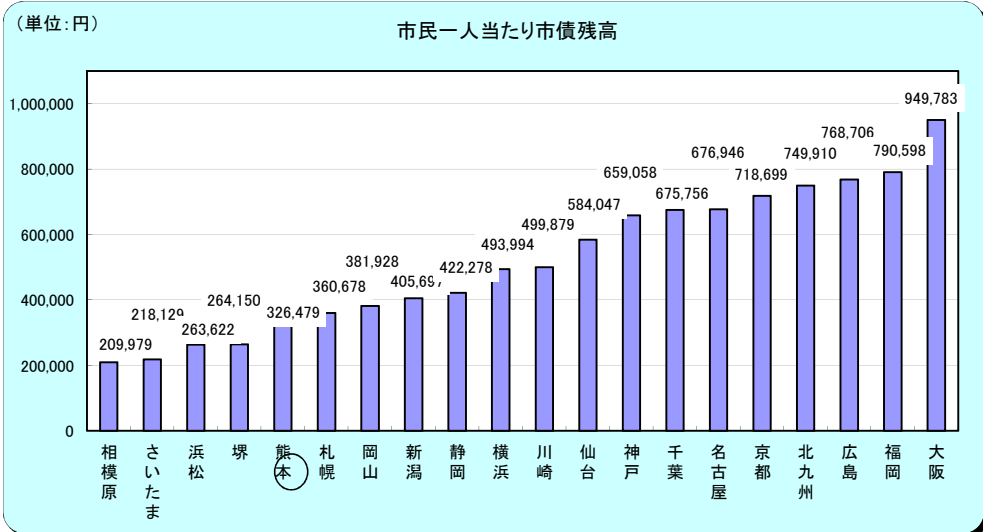
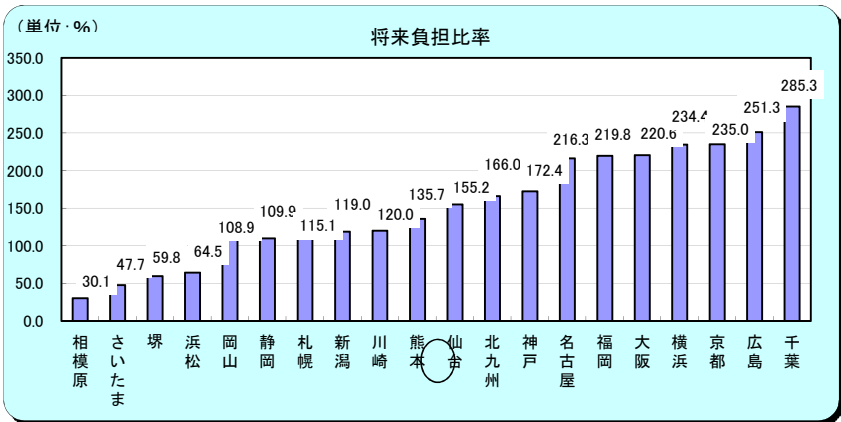
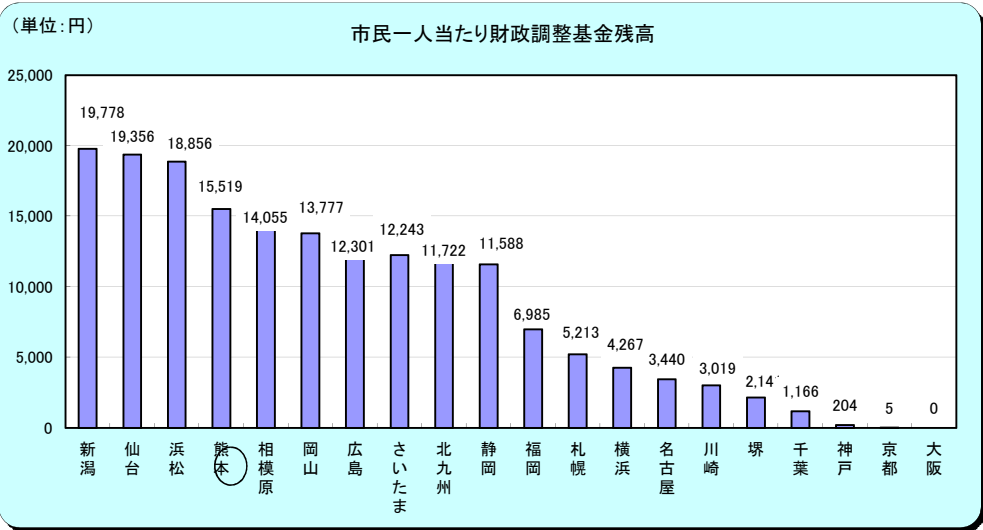
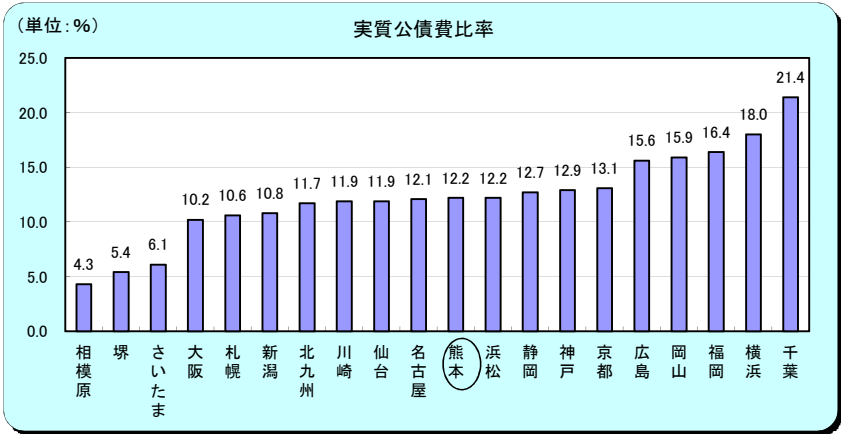
他都市比較(市民一人あたり)

40万人以上中核市20市平均	315,311円	中核市の中では平均よりも多い。
政令指定都市19市平均	571,775円	指定都市と比較すると平均よりも少ない。

※ 財政調整基金残高、市債残高については、都市規模で異なるため市民一人当たりで比較する。

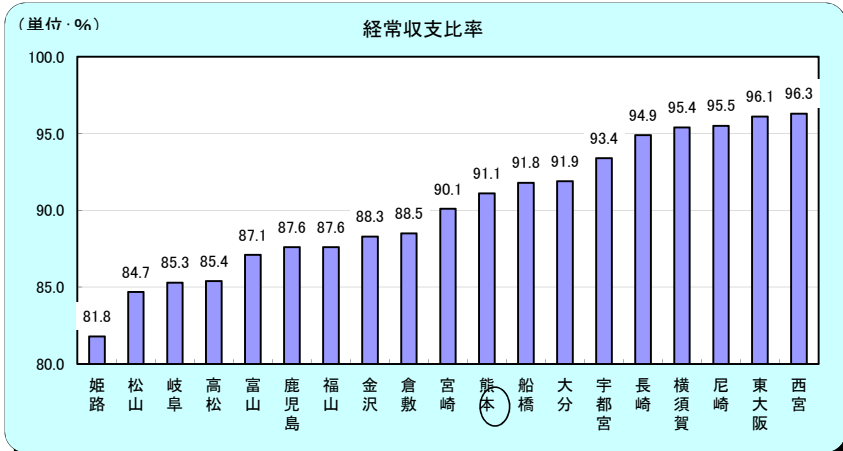
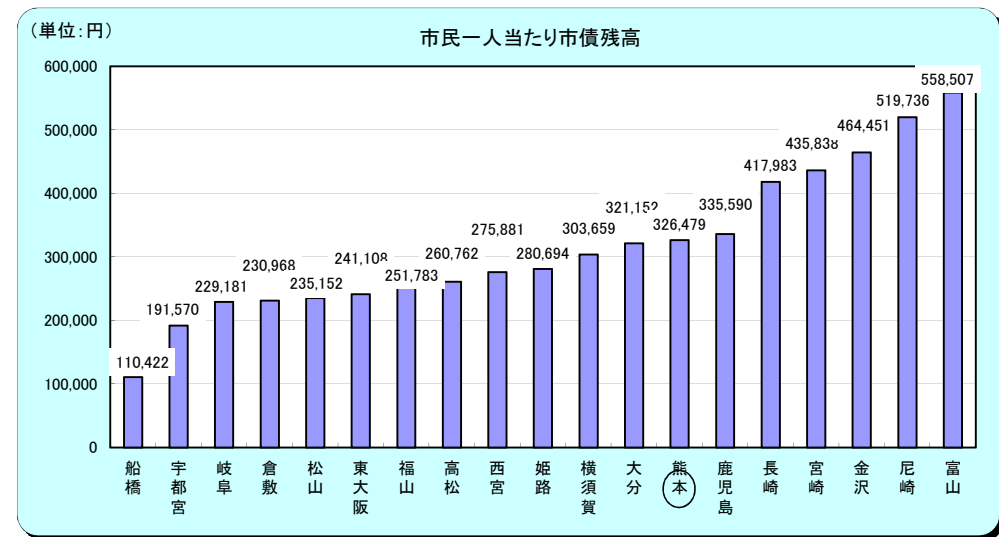
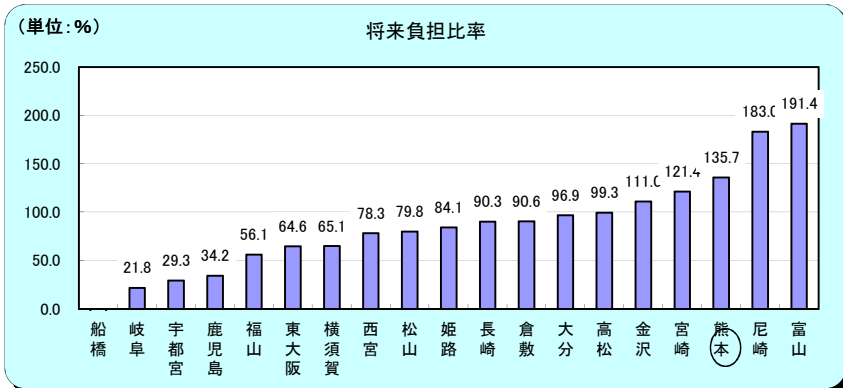
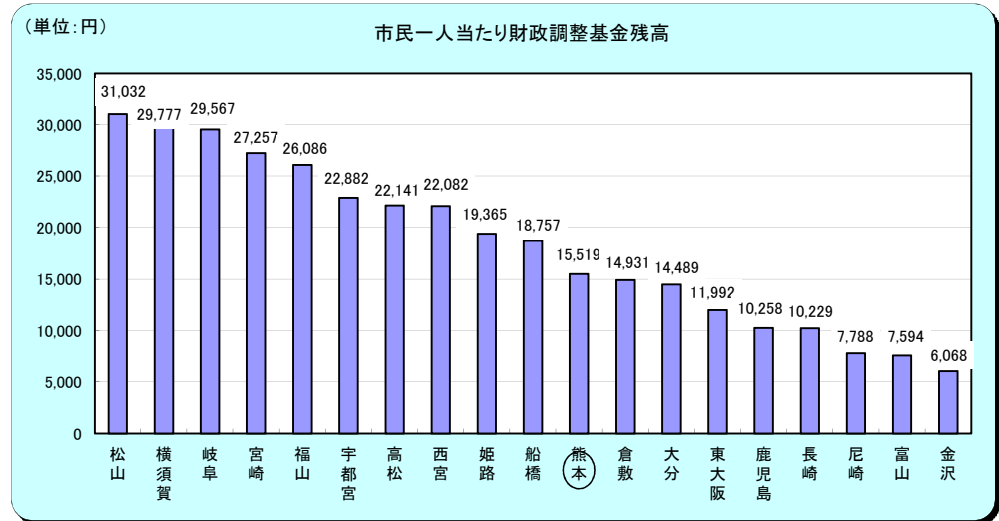
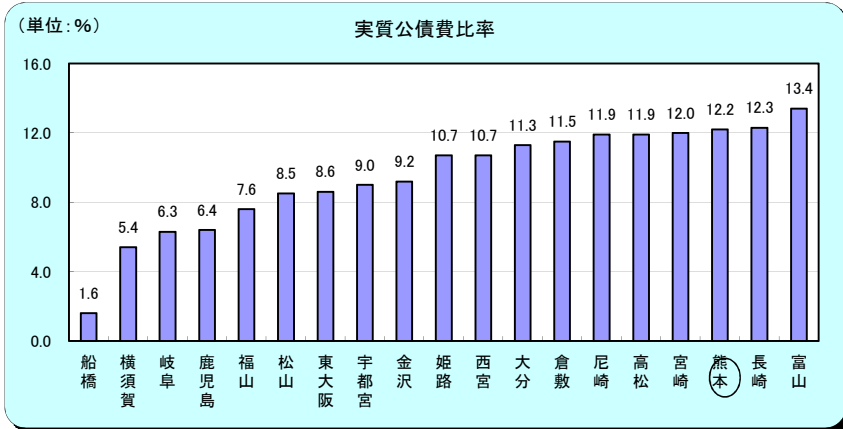
また、残高については、加重平均により算出したもの。

平成22年度 政令指定都市19市との比較



※ 比率はそのまま比較できるが、残高は都市規模で異なるため市民一人当たりで比較する。

平成22年度人口40万人以上中核市19市との比較



※ 比率はそのまま比較できるが、残高は都市規模で異なるため市民一人当たりで比較する。